

依頼事業を通じた地域の会の活性化について

記入日：2010年1月25日
北九州ネイチャーゲームの会 猿渡 清正

1. はじめに

「北九州ネイチャーゲームの会」会員は、ほとんどが仕事を持ち活動しているため、自主的な催しを持つことは困難な状況にある。週末の「依頼事業の活動」が会の事業の主である。北九州市関係の依頼事業が定期的にある。依頼事業を通して会員の指導力を向上させるのもねらいのひとつにある。

2. 活動の流れ

・指導依頼を受ける→担当者と打合せ→会の定例会で責任者及び指導者を確認する。→下見を行い、活動計画を立てる→当日下見、準備、実践→当日活動の反省→定例会で報告

3. 依頼事業の内容と活動内容

依頼団体（部局）	主な役割
北九州市河川局	「紫川水先案内人育成事業」講座での講師依頼
北九州市環境局	「音の探検隊」親子事業の指導依頼（年1回）
水辺の楽校	「笹尾川カヌー教室」NGの指導依頼（年2回）
ふくおかNPOセンター	北九州のどんどこプロジェクト（ネイチャーゲーム体験）
もじ少年自然の家	オープンディ NGの指導（年2回）

4. 成果と課題

- 育成事業での研修では、NG養成講座の事を話し、数名の方が受講。その結果、他団体との間に交流やその間を結ぶ指導員ができています。
- ふくおかNPO関係では、他団体との関係ができてくる。
- 依頼事業で指導内容がよいと次年度も継続して依頼がある。
- 依頼事業に対して、責任者を決め、計画立案や運営等を行うことで指導力を向上させた。
- 事業担当者が異動すると新しい担当者の理解によって打合せや内容が変わる傾向がある。また、数年続く事業ではマンネリ化の傾向がある。

5. 本報告を参考にされる方へ

- 依頼事業は、依頼者（担当者）の思いを汲むことから始まる。参加者に対して可能な限り細かな対応、指導の内容が依頼者との信頼関係を築く。そのために、下見は欠かせないし、指導員の人数の確保と指導技術の向上が大事である。
- 参加者の情報は指導を行う上で大切である。特別に指導を要する児童の状況把握及び対応。

6. 活動写真



「北九州のどんどこプロジェクト」風景小グループでの指導、若いリーダーの指導技術の向上も兼ねている。



「音の探検隊」親子事業「聴く」ことを主とした指導プログラムで実施。